

## 【展示品一覧】

展示品名	編著者等	刊行年	備考	所蔵
考古学の窓	末永雅雄	1968		個人蔵
末永雅雄が語る大和発掘ものがたり	末永雅雄	2004		個人蔵
増補 宮跡の遺跡	末永雅雄	1986	宮滝遺跡の研究史関係の図書	資料館蔵
丹生川上と鳥見靈跡・吉野離宮	森口奈良吉	1956		資料館蔵
大塔宮の吉野城	中崎清一	1937		資料館蔵
萬葉集論考	辰巳利文	1932		個人蔵
大日本地名辞書 上方	吉田東伍	1900		個人蔵
ふるさと吉野懐古写真集	吉野町文化協会	1986	吉野鉄道の写真など	資料館蔵
近畿日本鉄道 100年のあゆみ	宮本又郎	2010		資料館蔵
岡山人じがく 2019	岡山ベンクラブ	2019		個人蔵
世界の10人⑦ 人見紺枝	高木まさき	2015	美吉野運動場で練習を行った方々	個人蔵
暁の超特急 吉岡隆徳ものがたり	辺見じゅん	2001		個人蔵
南部忠平 南部忠平自伝	南部忠平	1999		個人蔵
山上 改第1冊	奈良山岳会	1935		個人蔵
山嶽 2	大和山岳会	1924		個人蔵
山嶽 3	大和山岳会	1925	吉野熊野国立公園関係の地図や図書	個人蔵
大和アルプス 大台ヶ原	大和山岳会	1921		個人蔵
吉野熊野国立公園と其付近	林清三	1958		個人蔵
吉野群山及び附近的山水探勝略地	吉野山岳会	1931		個人蔵
吉野神宮誌	吉野神宮奉賛会	1939	吉野神宮の成立	個人蔵
紀元一千六百年 神社ほか	紀元一千六百年奉祝会	1940		個人蔵
奈良市史 通史四	奈良市史編纂審議会	1995	疎開の実態について	資料館蔵
学童疎開を語り継ぐ	国民学校と学童疎開を考える会	2019		個人蔵
若き日の旅	里見厚	1940		個人蔵
愛と憎しみの中で	植村謙	1947	吉野ゆかりの文学	個人蔵
日本未来派 第1~3号		1947		個人蔵
絵はがき		戦前	吉野の風景	個人蔵



展示解説シート

今日、飛鳥から奈良時代にかけて営まれた吉野宮跡は、吉野町宮滝の宮滝遺跡とされています。こうした見解が一般化するまでは、江戸時代以来の長い研究の歴史、そして、昭和初期におこなわれた宮滝遺跡第1次調査が、大きな役割をはたしました。さて、この宮滝遺跡の発掘調査が行われた昭和初期の吉野では、ほかにも様々な出来事がおこっていました。本展示では、宮滝遺跡第1次調査が行われていた昭和初頭をとりあげ、その頃吉野で何がおこっていたのかをご紹介します。

## 吉野鉄道と美吉野運動場

今の大正・昭和時代に開通したのが昭和3年のことでした。なかなか実現しなかった吉野での鉄道敷設ですが、明治43年に吉野郡役所が鉄道設置への協力を呼びかけ、明治44年に吉野軽便鉄道（のちに吉野鉄道）が設立されます。大正元年、駒駅—吉野駅（今の吉野口駅—六田駅）の路線が開通し、昭和3年になって今の大正・昭和時代に開通したのです。

さて、この吉野鉄道は大正15～昭和元年、今の吉野町上市に複合運動場・美吉野運動場を開設します。この運動場では、日本女子オリンピック大会や日本女子東西対抗陸上競技大会がひらかれたほか、日本初の女性メダリスト・人見紺枝、暁の超特急とよばれた吉岡隆徳、走幅跳の元世界記録保持者・南部忠平らが練習などで訪れました。このとき彼らの指導をしたのが、運動場の管理人・谷三三五。彼もバリ五輪の日本代表選手だった人物でした。

## 登山のはじまりと吉野熊野国立公園

日本では古くから信仰目的の登山が盛んでした。しかし、スポーツやレジャー目的の登山が始まったのは明治以降になってからです。（明治以前にも、北海道の名付け親・松浦武四郎などが登山しています。）

明治38年に日本山岳会が設立されて以降、日本でもスポーツやレジャー目的の登山が徐々に普及していきます。こうした中で吉野では大台ヶ原をはじめとする吉野群山が注目されるようになり、「大和アルプス」と呼ばれるよう

になります。また、大和山岳会、吉野山岳会、奈良山岳会が設立され、各機関誌が吉野群山が特集されました。

こうした中で吉野の山々が評価されるようになり、自然保護の問題や林業家の反対活動、指定範囲の変更等、紆余曲折がありました。昭和11年に吉野熊野国立公園が選定されたのです。

## 南朝の顯彰と戦争

明治～戦前の日本では、南朝が非常に注目されました。南朝の舞台である吉野では、後醍醐天皇を祭神とする吉野本宮（明治22年創立）が昭和2年に竣工しました。また、建武中興六百年の記念碑・後醍醐天皇を支えた宗信法印の石碑・鎌倉幕府打倒に貢献した護良親王の仰御碑などが建てられました。そのほか、建武中興六百年祭や後醍醐天皇六百年祭などの行事が行われるなどしました。

第二次世界大戦も終戦間際にになると、今度は吉野が疎開の場所として注目されるようになりました。大阪市内の子供たちや興福寺の阿修羅像などが吉野町へ疎開しました。

## 昭和初期の吉野の文学

吉野はふるくら、様々な文学作品の舞台となってきました。「万葉集」や「古今和歌集」、「日本靈異記」、「今昔物語」、「源平盛衰記」、「太平記」、「義經千本桜」など…。

昭和初期になって吉野は多くの文人が吉野を訪れ、文学作品を生み出しました。また、吉野町出身の池田克己や、吉野町で教鞭をふるった植村謙、諭郎瀬正夫らもまた、詩人として活動していました。



昭和3年頃の吉野鉄道路線  
実線：実在路線　破線：延線予定（推測）  
(ピンク)：吉野鉄道路線、緑：大阪鉄道路線、青：大阪電気軌道路線  
①歓迎駅 ②権現宮前駅 ③吉野口駅 ④六田駅 ⑤吉野・美吉野運動場

令和3年度 特別陳列  
**昭和初頭、激動の吉野**  
～宮滝遺跡第1次調査の頃～

企画・展示 吉野歴史資料館  
期間 令和3年3月1日～11月30日  
(チームサカセントの連携展示あり)

昭和初頭の吉野ゆかりの文学作品紹介パネル



川田順『吉野ノ落葉』発表。植村謙、帰國へ作詩。  
興福寺の阿修羅像など、吉野山舟知家に疎開する。  
太宰治、井原西鶴の作品を再編し「吉野山」などを記す。

【昭和20年】



吉野山や本善寺などに大阪の児童が疎開する。  
野長瀬正夫、『大和吉野』を刊行。竹内金太郎、日本外史之碑を建立。

【昭和19年】

金峯山寺二王門、解体修理が開始される。  
前田夕暮『富士を歌ふ』を発表。

【昭和18年】

銅鳥居、旧国宝に指定される。

【昭和17年】

北原白秋、吉野町で歌を詠む。高村光太郎、「さくら」作詩。

【昭和16年】

折口信夫、吉野町來訪。里見弾『若き日の旅』発表。

【昭和15年】

紀元一千六百年祝典が吉野でも開催される。

【昭和14年】

大塔宮御徳碑、昭憲皇太子の歌碑が建立される。

【昭和13年】

後醍醐天皇陵参拝道路の改良工事が行われる。

【昭和12年】

貯木場竣工とともに、美吉野運動場縮小。

【昭和11年】

竹内金太郎、吉野山に種桜記之碑を建立。

【昭和10年】

会津八一、『南京餘唱』を刊行。

【昭和9年】

建武中興六百年記念碑、建立される。

【昭和8年】

万葉集研究家、佐々木信綱、来訪。

【昭和7年】

吉野神宮奉賛会、「後醍醐天皇御事跡」を刊行。

【昭和6年】

吉野山にロープウェイができる。  
吉野鉄道、大阪電気軌道に合併される。  
吉野山に山茶花、国指定文化財となる。  
佐々木信綱、吉野町來訪。斎藤茂吉、西行庵などを訪れ歌を残す。  
谷崎潤一郎、吉野山で滞在。『吉野葛』を執筆。

【昭和5年】

滿州事変

【昭和4年】

世界恐慌

【昭和3年】

吉野神宮、竣工。

【昭和2年】

吉野鉄道、六田一吉野間開通。畠傍駅から吉野駅の区間となる。

【昭和1年】

谷三三五、オリンピックに向け人見絹江や吉岡隆徳を指導。

【昭和0年】

奈良信託株式会社、設立される。

【昭和元年】

美吉野運動場で日本女子オリンピック大会開催。以降昭和9年まで続く。  
窟田空穂『鏡葉』発表。

【昭和2年】

吉野鉄道、六田一吉野間開通。畠傍駅から吉野駅の区間となる。

吉野鉄道、六田一吉野間開通。畠傍駅から吉野駅の区間となる。

【昭和3年】

吉野鉄道、竣工。

【昭和4年】

妹山樹叢、国指定文化財となる。

【昭和5年】

吉野鉄道、六田一吉野間開通。畠傍駅から吉野駅の区間となる。

【昭和6年】

吉野鉄道、竣工。

【昭和7年】

吉野鉄道、大阪電気軌道に合併される。

【昭和8年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和9年】

佐々木信綱、吉野町來訪。斎藤茂吉、西行庵などを訪れ歌を残す。

【昭和10年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和11年】

佐々木信綱、吉野町來訪。斎藤茂吉、西行庵などを訪れ歌を残す。

【昭和12年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和13年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和14年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和15年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和16年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和17年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和18年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和19年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和20年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和21年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和22年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和23年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和24年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和25年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和26年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和27年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和28年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和29年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和30年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和31年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和32年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和33年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和34年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和35年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和36年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和37年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和38年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和39年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和40年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和41年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和42年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和43年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和44年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和45年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和46年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和47年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和48年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和49年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和50年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和51年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和52年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和53年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和54年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和55年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和56年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和57年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和58年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和59年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和60年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和61年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和62年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和63年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和64年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和65年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和66年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和67年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和68年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和69年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和70年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和71年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和72年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和73年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和74年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和75年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和76年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和77年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和78年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和79年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和80年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和81年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和82年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和83年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和84年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和85年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和86年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和87年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和88年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和89年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和90年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和91年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和92年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和93年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和94年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和95年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和96年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和97年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和98年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和99年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和100年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和101年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和102年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和103年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和104年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和105年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和106年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和107年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和108年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和109年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和110年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和111年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和112年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和113年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和114年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和115年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和116年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和117年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和118年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和119年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。

【昭和120年】

吉野山に山茶花、国指定文化財となる。